

編輯委員長

白井宏

IRYO Vol. 63 No.1 (3) 2009.1

その後、雑誌は国立の医療機関に勤務する人たち

言うまでもなく、この雑誌「医療」は国立医療学会が発行する機関誌です。国立医療学会の特色は、職種を横断し、国立高度専門医療施設、国立ハンセン病療養所と国立病院機構を含め160施設以上に及ぶ巨大な病院群の職員を中心とした学会という点にあると考えます。創刊当時と現在とを比較すれば医学・医療の変化は極めて大きいものがありますが、多職種がお互いを尊重しあいながら、チームとして患者を援助していくというチーム医療の進化も際立った変化のひとつと言えましょう。全職種が関わるこの学会の機関誌として「医療」は、専門分野の雑誌とは一味違う、すべての職種の人々にとって価値ある雑誌を目指していくべきでありましょう。幸い、昨年(2017)の11月には、年会費の改定も行われ、医師以外にも多数の職員の入会が期待されます。また国立病院総合医学会には附属学校の学生も参加しています。創刊当時は医師のみが執筆していた「医療」にも、今は医師以外の各職種の方の執筆が稀ではありませんが、尚一層優れた論文が多く、そして学生からも投稿されることを期待しています。この雑誌が、今後も国立の医療施設の職員にとって、その活動を世に問う場として有用であり、広い意味で患者さんにその利益が還元できる場であるよう、そして、「世界的最善の雑誌」に少しでも近づけるよう、編集委員会も気を引き締めて努力したいと考えます。各位のご指導とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。